

科目名	観光と民俗	科目分類	■専門科目群 (第1グループ) □総合科目群 (第2グループ)	
			国際観光学科	□必修 ■選択
			学科	□必修 □選択
英文表記	Tourism and Folklore	開講年次	□1年 □2年 ■3年 □4年	
ふりがな	かまだゆきお	開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中	
担当者名	鎌田幸男	修得単位	2単位	
授業のテーマ	観光とは具体的にどのようなことか。			
到達目標	観光客は民俗文化(伝統芸能や生活文化)に何を求めているかを知る。			
授業概要	観光は現代社会の大きな潮流となっている。民俗は暮らしの文化であるが、近年は伝統的な民俗文化に関心が向いている。世界文化遺産に登録されたものも少なくない。本講義では、「暮らしの文化」が観光化されることによりどのような影響を受けるかを考える。また民俗資源は、地域おこしや観光とどのように関るかにも触れる。			
授業計画				
第1回	講義の概要についての説明。民俗とは、観光とは、どのようなことかを考える。			
第2回	伝統文化にどのようなものがあるか(1)			
第3回	秋田県の伝統文化について考える(2)			
第4回	世界文化遺産に登録されている文化について(1)			
第5回	秋田県の世界文化遺産登録から(2)			
第6回	観光とは何か、語源と定義を考える。			
第7回	観光客が伝統的な民俗行事の見学に関心を示すのはなぜか			
第8回	課題発表、民俗文化をテーマにした観光計画を立てる(1)			
第9回	その(2)			
第10回	その(3)			
第11回	観光は地域にどのような影響を及ぼすか(1)			
第12回	民俗文化の観光化に対する積極的な考え方と消極的な考え方(2)			
第13回	地域が直面する課題とは一限界集落と消滅集落のこと(3)			
第14回	観光化と地域おこし(村おこしや町おこし)について考える(4)			
第15回	観光と民俗と地域おこし—まとめ			
第16回	定期試験			
授業時間外の学習	観光や民俗に関心を持ち、その民俗が行なわれている場所を確認する。			
履修条件 受講のルール	秋田県内の世界文化遺産登録の文化に関心を持ち調べておく。			
テキスト	講義のときにプリントを配布する。			
参考文献・資料	講義のときに紹介する。			
成績評価の方法	① 定期試験(60%) ②小テスト(20%) ③レポート(20%) ①②③の総合評価とする。			
オフィスアワー	① 火曜日(14:40~16:10) ②これ以外の場合は事前に連絡すること。			
成績評価基準	平成28年度(2016)以降入学した学生 秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下) 平成27年度(2015)以前に入学した学生 優(100~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下) 出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けるこ			

	とができません。
学生への メッセージ	関心のある地域や民俗行事見学の旅行プランを立ててみる。